

環境経営レポート

2023 年度(対象期間:2023 年 2 月~2024 年 1 月)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための 17 の目標



発行日: 2024 年 3 月 15 日

杉浦工業株式会社

目次

1	組織の概要	P2
2	環境経営方針	P3
3	実施体制	P4
4	環境経営目標	P5
5	環境経営目標の実績	P6
6	環境経営計画と評価及び次年度の取組内容	P7
7	当社の取組	P9
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果 並びに違反、訴訟等の有無	P10
9	経営者による全体評価と見直し・指示の結果	P11
10	環境上の緊急対策	P12
11	環境コミュニケーション受付表	P13
12	問題の是正及び予防処置	P14
13	その他	P15

1 組織の概要

1. 事業所名および代表者名

杉浦工業株式会社
代表取締役社長 杉浦政邦

2. 所在地

名称	所在地	延床面積	備考
本社事務所	東京都品川区南品川 4-5-36	12 m ²	今回の認証対象
第 1 工場	静岡県沼津市西沢田 26	356.4 m ²	今回の認証対象
第 2 工場	静岡県沼津市西沢田 51	522.2 m ²	今回の認証対象
第 3 工場	静岡県沼津市西沢田 52	868 m ²	今回の認証対象
工場事務所	静岡県沼津市西沢田 26	639 m ²	今回の認証対象

3. 環境管理責任者、事務所担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 山田 仁 TEL055-921-1787
事務所担当者 浜野 優也 FAX055-923-2936

4. 事業活動

絶縁物、断熱板、工業用プラスチックの加工

5. 事業規模

項目	2023 年度
売上高	全社 35,800 単位 万円
従業員数	全社 33 名 (内訳:正規従業員数 25 人 パート・アルバイト 8 人)

6. 事業年度

2月1日～翌年1月31日

7. 認証登録の対象範囲

活動:全事業活動
対象組織:本社事務所、第 1 工場・工場事務所、第 2 工場、第 3 工場、

2 環境経営方針

〔基本理念〕

杉浦工業株式会社は、エコアクション 21 を通じて環境及び地域に配慮し、会社全体で環境方針並びに経営システムの仕組み作りを積極的に推進してまいります。

〔環境経営方針〕

杉浦工業株式会社は事業活動におけるすべてを見直し環境負荷の低減を重点項目と位置づけ、環境マネジメントシステムを継続的に改善してまいります。

なお、以下の項目を推進します。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます
 - 1) 電気、灯油、ガソリン等の使用量削減に努めます
 - 2) 3R 活動の展開による廃棄物の削減に努めます
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
 - 4) 化学物質の適正使用に努めます
2. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制を遵守します
3. 環境に配慮した製造活動
 - 1) 事務用品や原材料等のグリーン購入に努めます
 - 2) 環境に配慮した製品作りを推進します
4. 環境コミュニケーションの実施
 - 1) 社外に環境活動レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図っていきます
 - 2) 社内においては、全従業員に環境方針を周知し、全社員参画による取組を目指します

制定日 平成 27 年 9 月 1 日

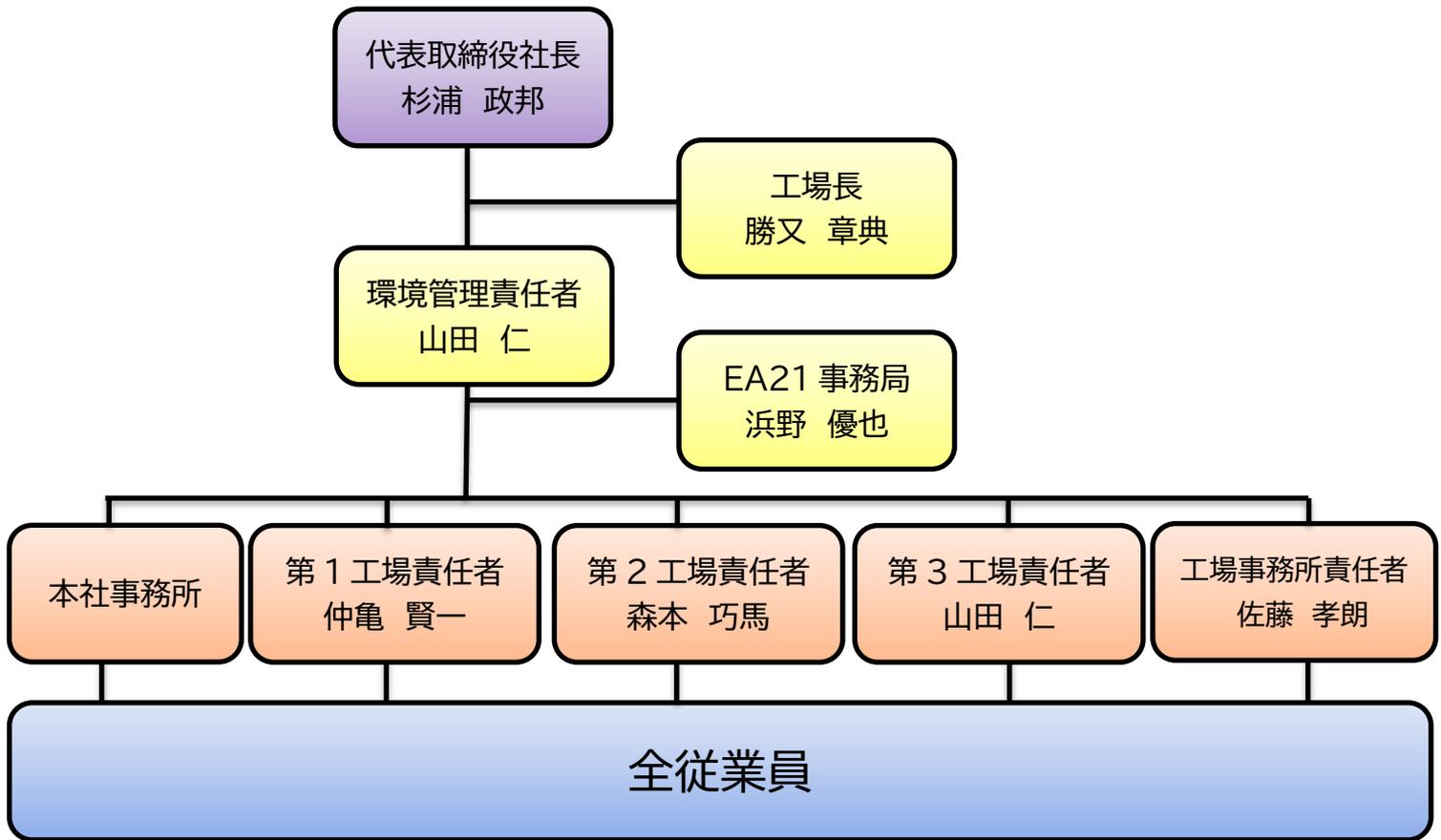
改訂日 令和 2 年 9 月 1 日

杉浦工業株式会社

代表取締役社長 杉浦 政邦

3 実施体制

2023年2月1日 現在



<関係者の権限と役割>

社長

- ① 環境経営全般に関する責任と権限
- ② 環境経営に必要な資源の準備
- ③ 環境経営システム全体の評価と見直し
- ④ 環境管理責任者の任命
- ⑤ 経営の課題とチャンスの明確化

各部門長

- ①部門の環境活動計画の実施
- ②部門データの集計
- ③部門取組状況の事務局への報告

環境管理責任者

- ① 環境経営システム全般の運用・管理
- ② 環境目標及び環境経営計画の作成
- ③ 取組状況の社長への報告
- ④ 環境経営レポートの作成
- ⑤ 部門の従業員教育

EA21 事務局

- ①環境負荷データ等の集計
- ②環境目標・環境経営計画の進行管理
- ③文書・記録の管理

全従業員

- ① 自分の役割を守りエコアクション 21 活動を推進する

4 環境経営目標

環境経営目標は、2019年度を基準年とした基準年比とする

項目	単位	2019年度	2023年度	2024年度	2025年度	
		(基準年)				
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	141,330	-3%	-4%	-5%	
			137,090	135,676	134,263	
	電力	kWh	287,120	-3%	-4%	-5%
				278,506	275,635	272,764
	ガソリン	L	1,000	-5%	-5%	-5%
				950	950	950
灯油	L	0	現状維持			
LPガス	kg	972	-30%	-40%	-50%	
			680.1	582.9	485.8	
廃棄物排出量	産業廃棄物	m ³	75.1	-5%	-6%	-7%
				71.3	70.6	69.8
	産業廃棄物 (燃え殻)	kg	860	-5%	-6%	-7%
				817	808	800
水使用量	m ³	602	-5%	-6%	-7%	
			572	566	560	
グリーン購入	%	—	現状維持<注記2>			
化学物質使用量	—	—	適正な管理・使用			
是正処置を行ったクレーム	件	0	0	0	0	

<注記>

- 1) 「化学物質使用量」の数値目標の設定は困難なことから、定性的な目標とする
- 2) ほとんど全ての物がグリーン購入である
- 3) エアコン導入の為、灯油の使用量は現状維持(0 リットル)
- 4) ガスエアコンを処分したことにより、使用量が大幅に減少する為、目標設定を高くした

5 環境経営目標の実績

2019年度をベースに運用期間(2023年度)の実績・評価を以下に示す

項目	単位	2019年度	2023年度	2023年度	比率	評価	
		基準年	運用期間の目標	運用期間の実績			
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	141,330	-3%	122,063	89%	○	
			137,090				
	電力	kWh	287,120	-3%	255,913	92%	○
				278,506			
	ガソリン	L	1,000	-5%	1,187.5	125%	×
				950			
	灯油	L	0	現状維持			
	LPガス	kg	972	-30%	69.8	10.3%	○
				680.1			
廃棄物排出量	産業廃棄物	m ³	75.1	-5%	63.2	89%	○
	産業廃棄物 (燃え殻)	kg	860	-5%	790	97%	○
				817			
水使用量		m ³	602	-5%	519	91%	○
				572			
グリーン購入		%	-	現状維持			
化学物質使用量		—	-	適正な 管理・使用	使用量 把握	-	○
是正処置を行ったクレーム	件	0	0	0	0	0	○

<注記>

- 1) 電力二酸化炭素換算係数は東京電力 0.457kg・CO₂/kwh とリコー電力 0.468kg・CO₂/kwh を使用

<原因分析>

- 1) ガソリンは年末の挨拶や出張が増えた為、使用量も増加した

6 環境経営計画と評価及び次年度取組内容

活動期間 2023年2月～2024年1月

環境経営項目(2023年度)		評価	コメント	次年度の取組内容	SDG's
二酸化炭素削減	不必要なアイドリングの禁止	○	守られている	継続実地	
	急発進・急加速の禁止	○	守られている	継続実地	
	エアコンの控えめな設定と使用(社用車)	○	守られている	継続実地	
	社用車日常点検表の記入	○	記入されている	継続実地	
	エアコンの設定温度(夏季26度以上)(冬期23度以下)	○	守られている	継続実地	
	コンプレッサーの点検と修理(4回/年)	○	点検している	継続実地	
	コンプレッサーの昼休み時間稼働停止	×	一部の工場で実地されていない事があった	注意喚起する	
	集塵機の昼休み時間稼働停止	○	守られている	継続実地	
	未使用設備の電源 OFF	○	守られている	継続実地	
	5S活動の実施(5Sチーム)	○	活動している	継続実地	
梱包用ダンボール等紙類のリサイクル	○	守られている	継続実地		

	ゴミの分別徹底	○	守られている	継続実地	
水 使用 量 削 減	節水の周知徹底	○	守られている	継続実地	
				継続実地	
廃 棄 物 削 減	コピー用紙の両面使用	○	守られている	継続実地	
	成形不良品の削減 (小不良対策チーム)	○	活動している	継続実地	
リ サ イ ク ル	端材の再使用率向上	○	実行している	継続実地	
化 学 物 質	購入量・使用量の把握	○	把握できている	継続実地	
	購入・保管・使用・廃棄段階 の適正管理	○	把握できている	継続実地	
グ リ ーン 購 入	グリーン商品の優先購入	○	守られている	継続実地	
環 境 配 慮 製 品	廃棄物の発生抑制のため、 在庫品の低減	○	実行されている	継続実地	

※責任者は環境管理責任者・担当者は事務局とする



7 当社の取組

※エコアクション 21

- ・エコアクション 21 会議(必要時のみ)
- ・静岡県産業廃棄物適正処理推進研修会 (2023.3.1)
- ・グリーンカーテンの実地(6 月末～8 月末)
- ・救命救急講習(2023.7.11)
- ・産廃処分業者の現地審査「(有)アクション」(2023.10.20)

※ISO9001

※品質対策会議(月 1 回)

※連絡会議(週 1 回)

※5S チーム(毎週水曜日に近隣清掃など)

※小不良対策チーム(月 1 回会議など)

※昼礼(週 1 回)

8 環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした

評価日 2024年 3月 15日

評価者 環境管理責任者 山田 仁

法律・条例	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守評価
騒音規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定施設の届出	特定施設の届出	○
	届出内容の変更有無	変更無し	○
	規制基準値の遵守	騒音の測定(市及び自主検査)	○
振動規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定施設の届出	特定施設の届出	○
	届出内容の変更有無	変更無し	○
循環型社会形成推進基本法	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力	○
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物の処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
	産業廃棄物の保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○
	産業廃棄物の委託処理	処理業者と契約、契約書の締結	○
	マニフェスト管理	マニフェストの交付、保管	○
		D,E票の期間内返却	○
	マニフェスト交付状況の知事報告	報告書提出	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○
家電リサイクル法	指定家電の廃棄時	リサイクル料金の支払(廃棄時)	○
自動車リサイクル法	自動車の廃車時	リサイクル料金の支払(廃車時)	○
リサイクル法	適正廃棄	パソコン、二次電池廃棄時	○
資源有効利用促進法	指定再資源化製品のリサイクルへの協力	メーカー回収への協力(パソコン、小型二次電池等の廃棄時)	○
環境基本法	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
地球温暖化対策推進法	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
省エネ法	省エネの自主努力	省エネ型モーターへの切替え	○
消防法	少量危険物の保管	消防署への届出	○
	火災予防	消火設備の定期点検	○
フロン排出抑制法	エアコン・冷凍(冷蔵)機器の廃棄時	フロン回収業者への引き渡し	○
	空調設備の点検	簡易点検表の実地(機器廃棄後3年間は保管)	○
浄化槽法	維持管理基準の遵守	維持管理契約の締結	○
		保守点検の実施	○
		定期清掃の実施	○
		法定検査の実施(1回/年)	○
(株)明電舎グリーン調達基準	基準順守	適合 製品の納入	○

2. 違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去 3 年間ありませんでした

9 経営者による全体評価と見直し・指示の結果

作成日 2024年 3月 15日

	項 目	確認	:(必要に応じて評価・コメント記載)	
1・見直し関連情報	1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	記録・文書として作成しました。	
	2 環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	年間を通じて判断していく。	
	3 環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組みます	
	4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	記録に記載いたしました。	
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	特に問題ありませんでした。	
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	別紙にて報告するようにします	
	7 取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>		
	8 その他()	<input type="checkbox"/>		
2・代表者による全体評価・見直し指示	<p>2023年度は新型コロナウイルスが5類に移行し、10%以上の売上増を計画したが5.5%の微増に留まった。</p> <p>利益面は、材料高、機械のメンテナンス費用、事務所の改修費用などが重しになったが、エネルギー費用は国の助成金などが有り昨年より減少した。</p> <p>また、設備投資は3月に3次元測定器、6月にS63年の最も古いMCを最新設備に買い換え計画通り進んだ。</p> <p>人材投資は、3人新入社員が入社したが2人退職してしまった。</p> <p>2024年度の設備投資は、4月に焼却炉の更新の予定以外は特に大きな投資は無いが人材投資は、3人新入社員が入社予定である。</p> <p>また、改修費用が無くなり機械のメンテナンス費用も減る予定なので、売上増と利益確保のため、材料費、加工費の値上げ申請を取引先としっかり行くと同時に、経費削減も進めて、人件費増を吸収していきたい。</p>			
	2024年 3月 15日 杉浦工業株式会社 代表取締役社長 杉浦 政邦			
		見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	2	環境目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	3	環境活動計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	4	環境に関する組織	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	5	その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	6	その他(外部への対応)	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	

10 環境上の緊急対策

<緊急時対策>

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

訓練日	想定される緊急時の状況	対処・訓練等
2023年7月11日(火)	作業時の怪我や発作など	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当 ・心肺蘇生法 ・AEDの使い方
参加者	社員	
※評価と改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に真剣に取り組むことができ、参加者全員が普通救命講習修了所を取得する事が出来た ・この活動は重要なので今後も定期的に続けていきたい ・仕事の都合により、一部の社員が参加出来なかったので次回は全員参加を目指したい ・13 その他の項目(P17)参照 		

訓練日	想定される緊急時の状況	対処・訓練等
2023年10月6日(金)	作業時の地震発生	<ul style="list-style-type: none"> ・会議での避難経路の確認 ・ヘルメットの劣化や破損の確認 ・非常食の消費期限の確認 ・消火器の使用期限の確認
参加者	エコアクション 21 担当者	
※評価と改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・劣化の激しいヘルメットは新しいものと交換した。 ・使用期限や消費期限のあるものはすべて期限内であった。 ・今回は会議での確認のみなので、次回は全社員での避難訓練を実施したい。 		

11 環境コミュニケーション受付表

管理担当:山田 仁

NO.	情報 入手日	情報 種類	通報者	通報方法	住所 連絡先	内容	回答の 必要性	対応内容
1	/	対策・苦情		電話・メール			必要・不要	
				()				
2	/	対策・苦情		電話・メール			必要・不要	
				()				
3	/	対策・苦情		電話・メール			必要・不要	
				()				
4	/	対策・苦情		電話・メール			必要・不要	
				()				
5	/	対策・苦情		電話・メール			必要・不要	
				()				

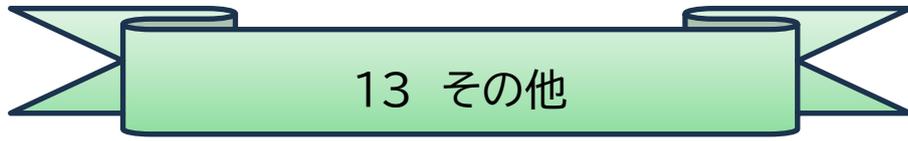
※近隣からのクレーム(焼却炉の煙や臭い・騒音・振動・粉塵)などがあつた場合カウントする

12 問題の是正及び予防処置

記録日:2024年 3月 15日

担当者:山田 仁

	日付	対象項目	原因	是正及び予防処置
1	3/15	ガソリン使用量の増加	年末の挨拶や出張が増えた為、使用量も増加した	エコカー導入を検討する
2	3/15	コンプレッサーの 昼休み時間稼働停止	担当者の消し忘れ	ポスターなどを張り、消し忘れを防止する
3				
4				
5				



13 その他

- ・ 産業廃棄物処理業者向け研修会
- ・ 普通救命講習レポート
- ・ グリーンカーテンレポート
- ・ 産廃処分業者の現地確認報告書

産業廃棄物処理業者向け研修会

1. 日 時 2023年3月1日(水) 14:00~16:30
2. 出張者 環境管理責任者 山田 仁
3. 場 所 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」2階大会議室
4. 研修内容
 - ・ 廃棄物の法令知識
 - ・ 適正処理のための取組(処理状況の確認、実地確認等)
 - ・ 災害時等への備え
 - ・ 2050年カーボンニュートラル実現に向けて
 - ・ 電子マニフェストについて
5. メ モ
 - ・ 産業廃棄物についての取組に対して勉強になった
 - ・ 法的な提出物(資料)はすべて提出されている事を確認した
 - ・ 自社でも電子マニフェストの導入を検討したい

普通救命講習レポート

●実地日

2023年7月11日(火) 午前の部 9:00~12:00 午後の部 13:00~16:00

(一度に全員講習できない為、二部制として実地した)

●講習内容

- ・応急手当
- ・心肺蘇生法
- ・AEDの使い方

●講習の様子



●まとめ

- ・全体的に真剣に取り組んでいた
- ・指導者に、率先して質問をしていた
- ・参加者全員が普通救命講習終了証を取得することが出来た
- ・この活動は重要なので続けていきたい

グリーンカーテンレポート

●実地日

6月末から8月末

●目的

窓から入る直射日光をさえぎり、室内温度の上昇を抑える為
葉の蒸散作用によって部屋の温度上昇を抑えることができる為

●取組内容

事務所ビル1階西側の窓に設置

●様子



●結果

電気代等の数値的には変化は見られなかったが、体感的には効果があったと思う
上手く成長しなかった為カーテンと言えるほどではなかった

産廃処分業者の現地確認報告書

1. 日 時 2023年10月20日(金)
2. 出張者 工場長 勝又章典
3. 訪問場所 (有)アクション
4. 訪問目的 廃プラ処分の確認
5. 所 見
 - ・ 作業場と伝票確認をしたところ、しっかりと管理されていた
 - ・ 廃棄物置場も綺麗に整頓されていた
 - ・ 作業員もヘルメットを着用し、安全面にも配慮が見られた
 - ・ トラックにも許可番号などしっかりと表示されていた
6. 添付画像

